

アンケート調査の結果は、市ホームページでも公表しています

「市民アンケート調査結果」(速報)
令和4年度第1回審議会「資料2」



「市民・事業者アンケート調査検証」
令和4年度第2回審議会「資料3」
※計画書の一部として分析結果を掲載。



男女共同参画に関する市民活動団体の取り組みを紹介します

おおふなと男女共同参画「うみねこの会」主催の活動

9月4日に、講演会【～男女共同参画の視点から～「子ども食堂の今とこれから」】が、おおふなぽーとで開催されました。

講師の山屋理恵さん（岩手県男女共同参画センター長）は、「男女共同参画」が、社会の多様性と活力を高める取り組みで、人口減少・少子高齢化が進む中、とりわけ重要な課題でもあることを分かりやすく説明しました。

また、ひとり親家庭や単身世帯の増加を背景とした、社会的孤立や貧困など、困難を抱える家庭への支援活動として、子ども食堂の活動を紹介しました。



「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発活動を実施します！

11月13日、市内商業施設（サン・リアとマイヤ大船渡店）において、いわて男女共同参画サポーターの会気仙ブロックと、おおふなと男女共同参画「うみねこの会」が、共同で啓発活動を行います。

■パープルリボンって？

「女性に対する暴力をなくす運動」（毎年11月12日から25日まで）のシンボルです。暴力は、女性に限らず、また、年齢や間柄などにも関わらず、決して許されるものではありません。

暴力には、身体的暴力のほか、精神的暴力、経済的暴力、性的暴力などの「見えない暴力」も含まれます。



ジェンダー講演会 開催実行委員会主催の活動

5月15日に、「男性も女性も私らしく生きる社会を目指して」と題し、ジェンダー平等をテーマにした講演会が開催されました。

講演は、認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウの後藤弘子副理事長と伊藤和子副理事長が講師となり、社会的・文化的に作られた「男性／女性はこうあるべき」という偏見に気付き、意識すること、多様性を認められない社会は誰にとっても生きづらい社会であること、職場におけるジェンダー問題や離婚・DV（ドメスティック・バイオレンス）の相談事例などを話されました。



いわて男女共同参画サポーター養成講座～おおふなぽーとなどを会場に開催～

9月17日、岩手県および岩手県男女共同参画センターと市が共催し、「復興防災・コミュニケーション」をテーマとした講座を開催しました。

講話では、講師の東梅麻奈美さん（地域共生ホームねまれや所長）が大槌町で行っている、多様な交流が生まれる居場所づくりの活動が紹介され、その活動に関わるエピソードなどを話されました。

その後、(株)キャッセン大船渡が開発した、防災観光アドベンチャーゲーム「あの日～大船渡からの贈り物～」を体験し、参加者は、震災体験者が伝える「いきる知恵」を集めながら、ゴールを目指していました。



いきいき通信

大船渡市男女共同参画情報

2022秋号

いきいき通信では、年2回男女共同参画に関する情報をお知らせします。

編集・問い合わせ先／男女共同参画室
(☎0192⑦3111(内線278)／☎0192⑦8878)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



市は、持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえて各種取組を推進しています。

男女共同参画社会に関するアンケート調査の結果をお知らせします

本年4月から5月までにかけて実施した、「男女共同参画社会に関する市民アンケート調査」では、641人から回答をいただきました。また、同時期に行った「事業者アンケート調査」では、231社から回答をいただきました。

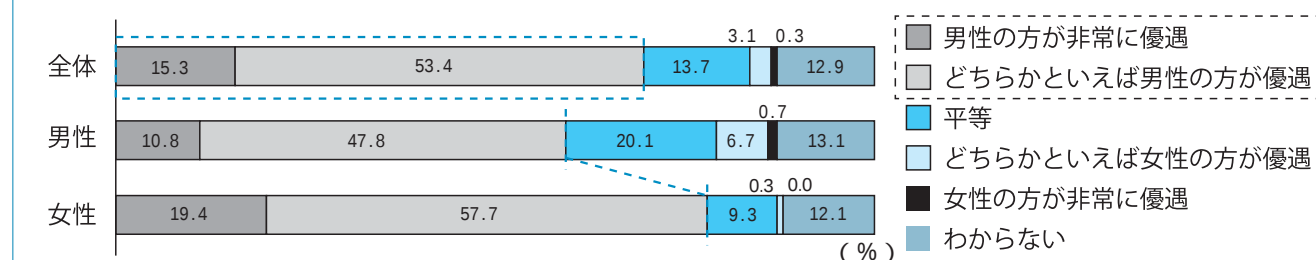
グラフ1は、市民アンケート調査において、男女の地位の平等感を質問した結果です。「男性が優遇」と答えた人がかなり多く、男女間においても、認識のギャップがあることが分かりました。

グラフ2は、ワーク・ライフ・バランスの観点

から、仕事とそれ以外の活動についての優先度を質問した結果です。性別に関わらず、全ての年代において、現実では「仕事」が優先されており、「仕事」と「家庭生活・社会活動」の両立など、理想の姿とは異なる状況にある人が多いようです。

市では、アンケートの結果を基に、誰もが意欲に応じて、望む分野で活躍できる男女共同参画社会の実現を目指し、第5次大船渡市男女共同参画行動計画の策定を進めています。

グラフ1 Q：男女の地位は平等になっていると思いますか？【社会全体でみた場合】



グラフ2 Q：「仕事」と「家庭生活または社会活動」の優先度について、あなたの【現実／理想】の生活に最も近いのは？

